

▽労働講座企画委員会寄附講座△

自分の未来をつかめ～OB・OGの働き方と
とおして考える

職場のリアル～働く人たちの貧困
非正規シングル女性を中心に

2019年10月29日

(公財)横浜市男女共同参画推進協会
事業企画課長 白藤香織

◎本日、お話しすること

- ◆今のしごとに就くまで
- ◆横浜市男女共同参画センターの事業
- ◆非正規雇用のリアル
- ◆「非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」調査結果とプログラムから

◎ 自己紹介

大学卒業後、銀行勤務。英国イーストアングリア大学院（開発とジェンダー修了）を経て、1998年入職。女性の健康・就業支援事業の事業企画と実施に従事。「非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」（2015年度）、「仕事とくらしのセーフティ講座」プログラム開発及び実施に携わる。担当は広報・事業開発・事業部門統括。国家資格キャリアコンサルタント。2度の育児休業、ダブルケア（子育てと介護）を経験。夫も1カ月の育児休業経験者。

◎ 横浜市男女共同参画推進協会の ビジョン

すべての人が**性別にとらわれることなく生きる権利を尊重され**、個性と能力を十分に発揮して、**あらゆる分野に対等に参画する**豊かで活力ある社会を（横浜で）実現すること。

自分のビジョン

性別・国籍・障がい等の多様な個性が排除されることなく、個人として尊重され、生きる権利を保障される社会を実現すること。

ジェンダー平等の実感

最近、自分自身に起きたこと、ニュースなどでジェンダー不平等と感じたことは、ありますか？

◎ **隣の人と話してみよう（2分）**

ポイント：相手の話は否定せず「聴く」

日本のジェンダー平等ランキング

ジェンダー・ギャップ指数2018

日本110位／149か国（2017年度114位）

世界経済フォーラムより

- ◎ **経済分野** : 0.595 (117位) ← 0.580
- ◎ 教育分野 : 0.994 (65位) ← 0.991
- ◎ 健康分野 : 0.979 (41位) ← 0.980
- ◎ **政治分野** : 0.081 (125位) ← 0.078

※1に近いほど平等度が高い

◎ 横浜市男女共同参画センターの事業とは



男女共同参画センター横浜
(フォーラム)

男女共同参画センター横浜南



男女共同参画センター横浜北

設立：1987年

指定管理者として市内3館の男女共同参画センターを管理運営

来館者：88万人／講座実施回数：約3,000回／講座参加者数：約83千人(2018年度)

◎ 事業運営の基本方針

- センター3館で「横浜市男女共同参画行動計画」に基づいた事業を展開
- 情報（専門ライブラリ）・相談（電話／面接）・学習研修（講座／セミナー）の3つの機能を連携させ、利用者の問題解決を支援
- センター3館を拠点に、市内へのアウトリーチも実施

◎ 横浜市男女共同参画センターの事業とは



がんサバイバーのための
ヨガ

情報
ライブ
ラリ



面接相談



パパと遊ぼう～
オムツっ子も水遊び



◎ユース（Youth）向け事業

- **デートDV防止啓発ワークショップ**
年間約4,500人の中・高校生が参加



- **女の子の身を守るアプリ～Charm**
3,300ダウンロード（2018年度）

デートDV、性被害、ブラックバイト等の相談先掲載



◎ユース（Youth）向け事業

- **セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の相談／居場所** 毎月2回
ティーンズタイムあり、支援員は当事者
- **自助グループ支援**（摂食障害、薬物依存、機能不全の家庭で育った大人、性被害、発達障害、LGBT、ひきこもり、乳がん）
42グループ、約6,700人／年が参加

◎ユース（Youth）向け事業

➤性的傷つきを体験した女性のための セルフケアのためのグループ

1コース10人、全5回、無料

➤ジェンダーとメディア表現@大学

CMやマンガなどから見るジェンダー観

横浜市立大学や明治学院大学等で開催

非正規職雇用のリアル

非正規職シングル女性の ～社会的支援に向けたニーズを探る～

(2015年度)

◆ 調査実施の社会的 背景について



◎ 非正規労働（雇用）の定義

◆ 正規雇用

- ① 期間の定めがない
- ② フルタイム
- ③ 直接雇用

労働者派遣のような雇用関係と指揮命令関係が異なるもの（間接雇用）ではない

のいずれも満たすもの

◆ 非正規雇用

それ以外の雇用形態（アルバイト・パート・派遣・契約・嘱託・非常勤等）

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 1 働く人の●割は、非正規雇用？

(パート・アルバイト・派遣・契約社員等)

①2割 ②3割 ③4割 ④5割

回答：**4割**

1990年前半までは、**2割**

◎クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 2 働く女性のうち、非正規雇用は何割？

- ① 3割 ② 5割 ③ 6割 ④ 7割

回答：③ 6割

※労働力調査「詳細集計」平成30年平均（速報）では
56.1%

平成26年（2014年）56.6%よりは減少するも
比率は高止まり、実数は増加

2003年以降、50%を超え続けている

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 3 大卒で非正規雇用。何割？

- ① いない ② 1割 ③ 2割 ④ 3割

回答：**大卒2割**

大学院修了で1割

出典：ニッセイ基礎研究所「学歴別に見た若年労働者の雇用形態と年収」
図表2 若年労働者に占める正社員と正社員以外の割合

◎ クイズ～非正規雇用の今

- Q 4 非正規雇用労働者（パート・派遣・契約社員等）のデメリットとは？

隣同士（2-3人）で話してみよう

（2分）

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 4 非正規雇用労働者（パート・派遣・契約社員等）のデメリットとは？

- ・ **雇用が不安定**
- ・ **給与が少ない**
- ・ **福利厚生や研修機会が少ない**
- ・ **社会的信用が低い**

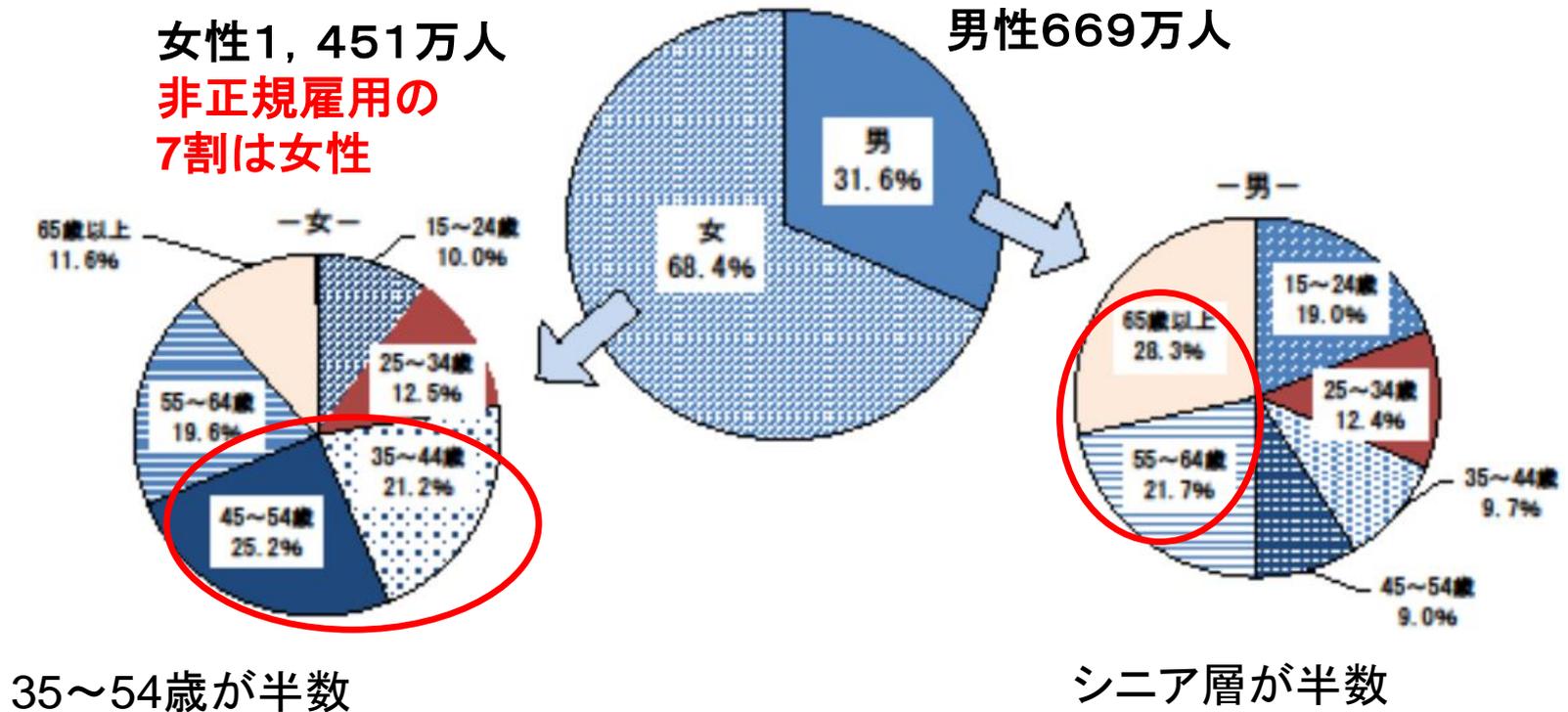
◎働き手に占める非正規雇用は 過去最高水準に

| | 2012年 | 2018年 | |
|-------|--------|--------|---------------|
| 非正規雇用 | 1846万人 | 2152万人 | 306万人増 |
| 正規雇用 | 3336万人 | 3497万人 | 161万人増 |

出展:朝日新聞「年収200万円未満が75% 非正規のリアルに政治は」
2019年6月18日

◎ 年齢階級別非正規の職員・従業員の 内訳 (2018年)

図2. 表2 年齢階級別非正規の職員・従業員の内訳 (2018年)



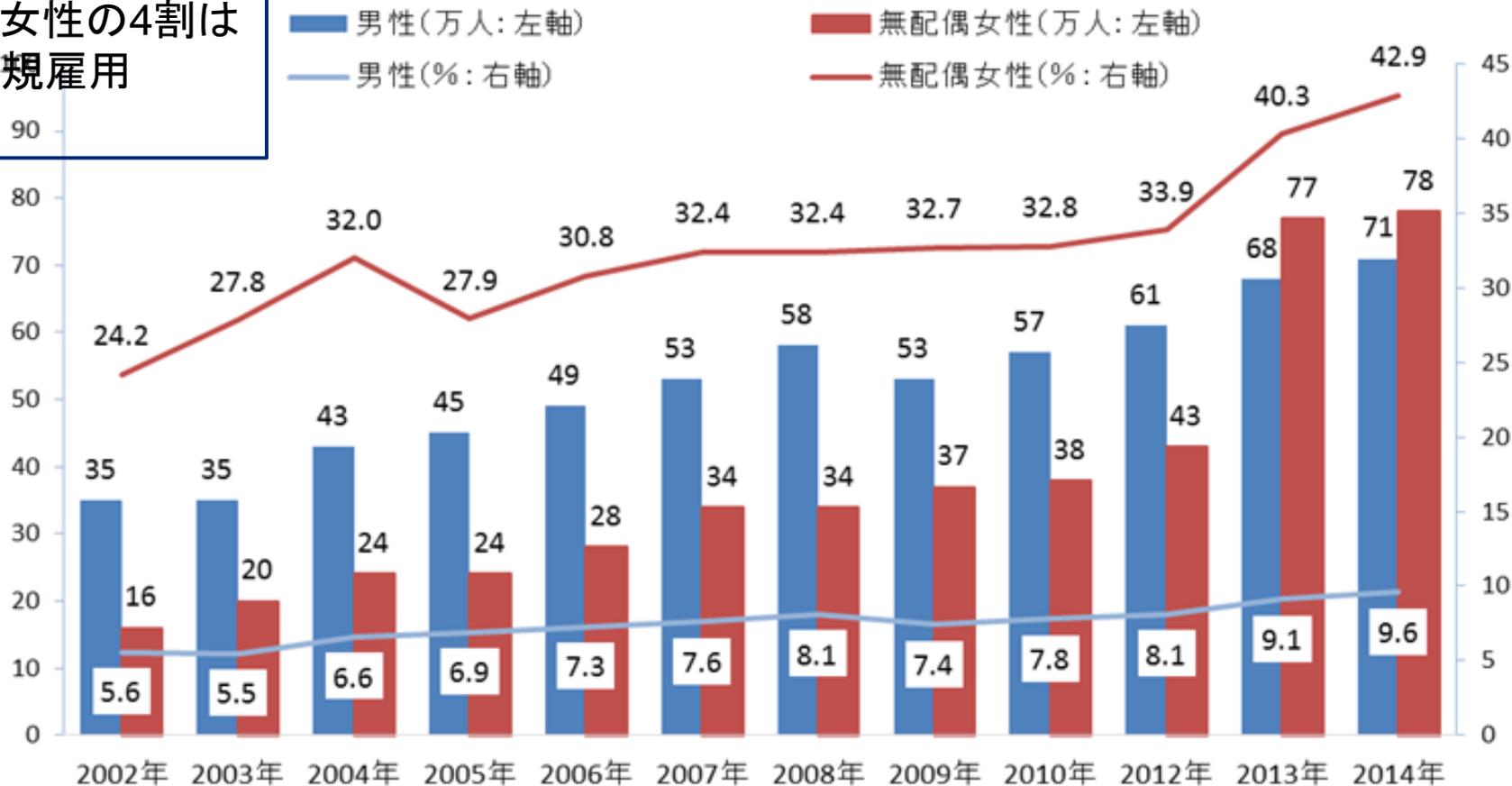
注) 割合は、内訳の合計に占める割合を示す。

非正規雇用労働者数 2,120万人

出展: 労働力調査「詳細集計」平成30年平均(速報)

◎ 35～44歳(壮年期)非正規雇用労働者の人数推移・男女別

働くアラフォーシ
ングル女性の4割は
非正規雇用



出所: JILPT「壮年非正規雇用労働者の仕事と生活に関する研究報告—就職氷河期から『20年後』の政策課題—」(2015年10月)
<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2015/0180.html>

注1: 女性については、2012年までは「未婚女性」、2013年以降は離別・死別を含む「無配偶女性」である。

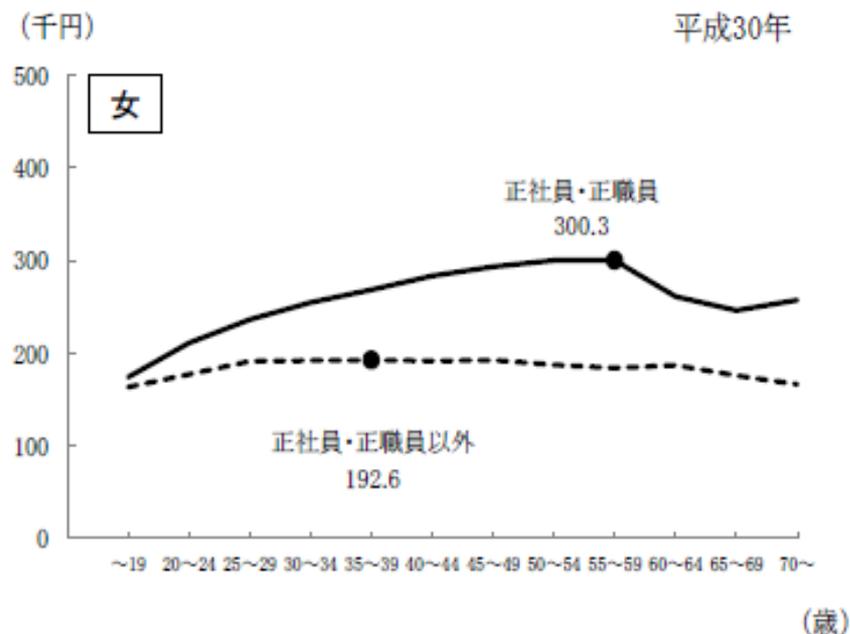
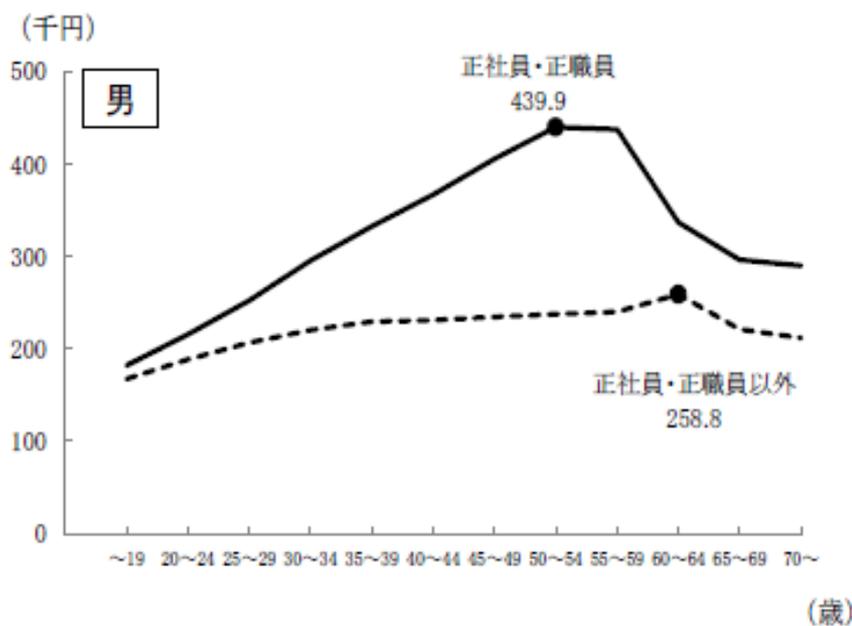
注2: 在学中の者は除いている。

【参考】未婚女性(ただし、在学中の者を含む): 総務省「労働力調査」2013年10～12月平均51万人、2014年10～12月平均52万人

◎ 正規・非正規の賃金

＜雇用形態、性、年齢階級別賃金カーブ＞

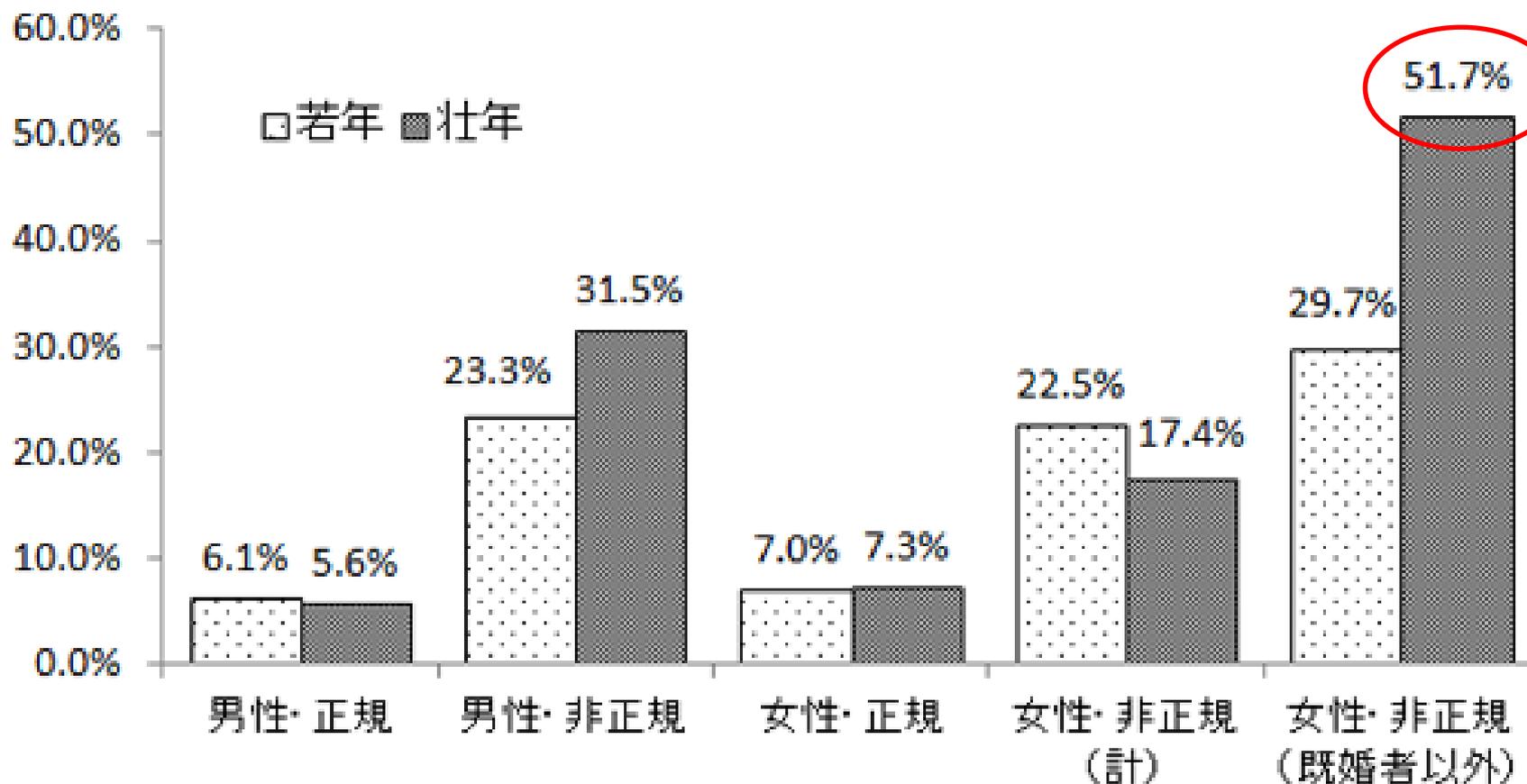
第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



出所：厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」

●印は賃金ピーク

◎ 正規・非正規の貧困率



貧困率：所得が国民の「平均値」の半分に満たない人の割合。

出所：JILPT『労働政策研究報告書 No.164 壮年非正規労働者の仕事と生活に関する研究 —現状分析を中心として—』 pp.152-153

グラフ出所：<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2014/0164.html>
(公財)横浜市男女共同参画推進協会

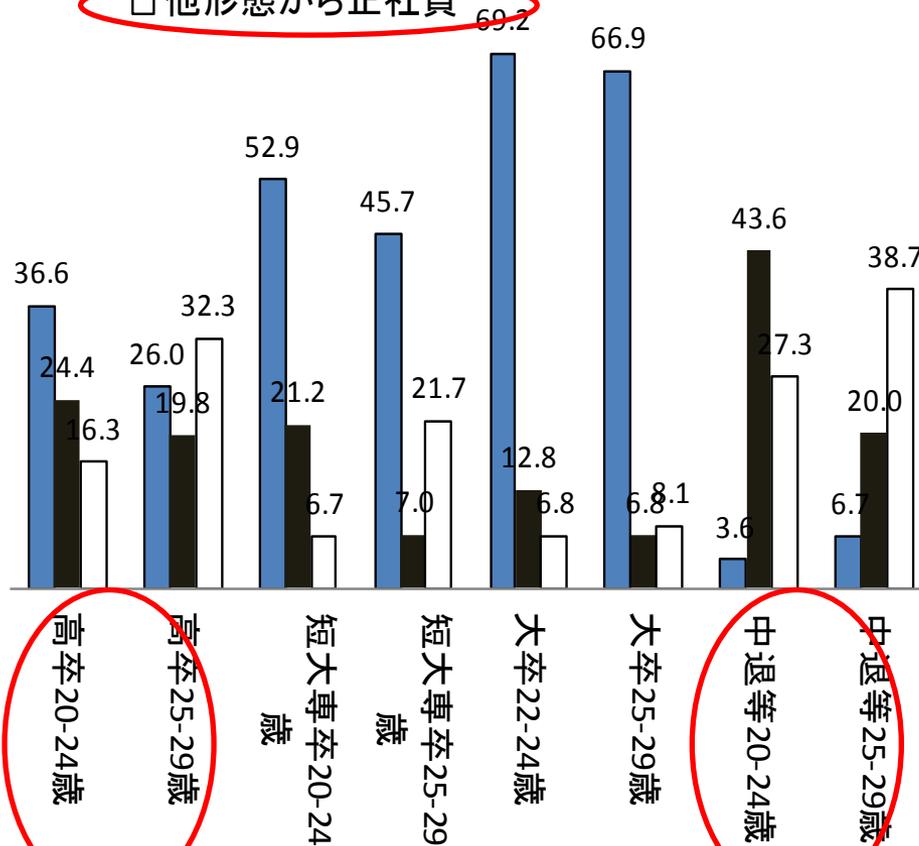
◎ 大都市の若者の職業キャリア (非在学者)

男性は正社員に引き上げられているが、女性は引き上げられない。

2011年男性

■ 正社員定着・転職 ■ 非典型一貫

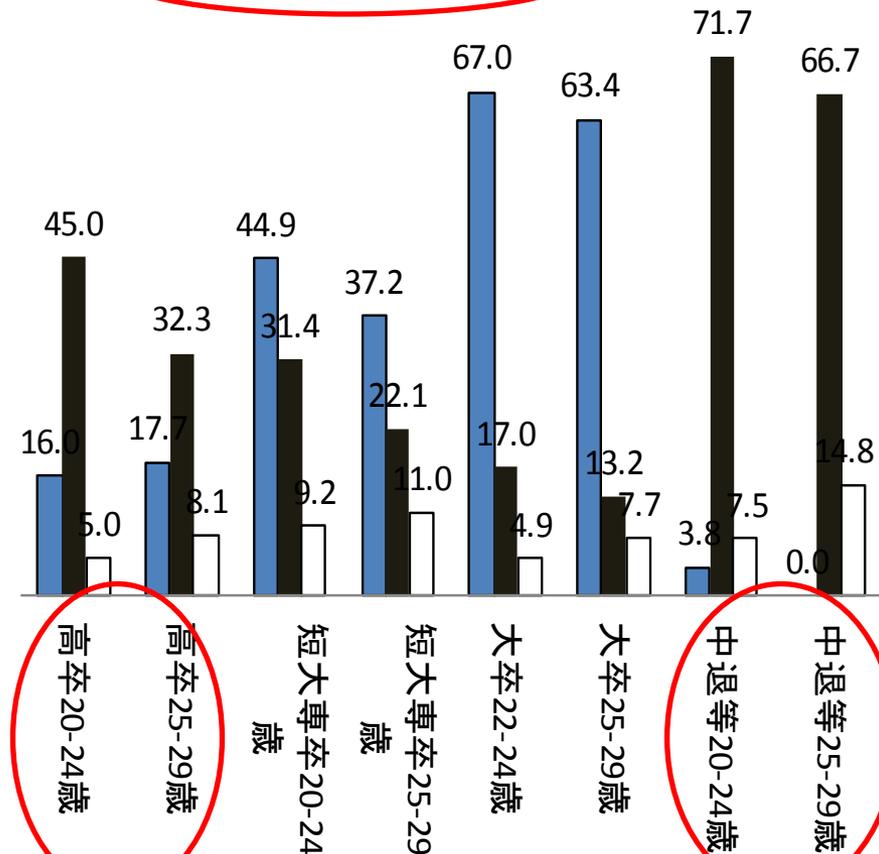
□ 他形態から正社員



2011年女性

■ 正社員定着・転職 ■ 非典型一貫

□ 他形態から正社員



◎ 不本意非正規 事例

不本意非正規とは、正社員として働く機会がなく、非正規雇用で働いている者

- 就職氷河期に大学を卒業。就活がうまくいかず、初職から非正規雇用。
- 正社員として入社した会社が倒産。仕事が見つからず、契約社員として働き、契約更新し続けている。
- ブラック企業に入社。過労でメンタル不調。フルタイムで働けず、パートに。
- 面接等で「大学時代、遊んでたんでしょ」「好きでその働き方を選んだのでは」「女性はいずれ結婚するんだから」と言われ、辛かった。

・・・これって、自己責任ですか？

◎ 非正規労働の「問題」化

- ◆ 若者の非正規（無業）問題
ニート、ひきこもり、派遣切り等
- ◆ 2008年リーマンショック以降、男性の非正規雇用が急増し、社会問題化。
女性の非正規雇用化は問題とされてこなかった。
- ◆ 不本意非正規 労働力調査で女性は10%とあるが...
 - ・ 壮年シングル女性対象の私たちの調査では60%
 - ・ 主婦パートは本当に「非正規」を望んでいるのか
定時で帰れる働き方として、非正規を選ぶのでは？

◎なぜ、女性の非正規雇用は「問題」
にならなかつたのか

◆非正規 = 主婦パート

→女性は大たる稼ぎ手（父親・夫）に扶養される

→女性の仕事は補助的労働だから低賃金

= 「**男性稼ぎ主モデル**」

に基づく考え方

◎しかし、生涯未婚率は上昇

◆未婚率（2015年国勢調査）

- ・女性（35～39歳） 23.3%
- ・男性（35～39歳） 34.5%

◆生涯未婚率（2010年⇒2015年 国勢調査）

- ・女性 10.6%⇒14.9%
- ・男性 20.1%⇒24.2%

⇒2035年には

女性の生涯未婚率 約19%

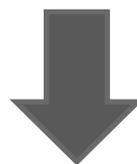
（国立社会保障・人口問題研究所の予測）

◎ 「男性稼ぎ主モデル」のリスク

女性の労働力率は年々上昇。

しかし、働いても一人では食べていけない。

= 働く女性の貧困



女性が貧困に陥るリスクが高い社会

◎なぜ、女性の非正規雇用は「問題」 にならなかつたのか

◆自己責任論

- ・ 良いことも悪いこともすべて自分の責任
- ・ 非正規雇用 = 努力が足りなかつた？

「がんばってもそれが公正に報われない社会があな
たたちを待っています」

「がんばったら報われるとあなたがたが思えること
そのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環
境のおかげだったことを忘れないようにしてくださ
い」

上野千鶴子（社会学者）・東大祝辞

◎ 背景のまとめ

- 働く女性のうち6割が非正規
 - 既婚女性のパート労働の割合が多いため、
女性の「不本意非正規」が見えづらい
 - 壮年(35～44歳)非正規シングル女性は増加している
　　< **10年で2.7倍** (2002年～2012年) >
 - 壮年非正規シングル女性の**2人に1人が貧困**
 - 男性に比べて、非正規から正規への転換が行われない
 - 女性の就労に関わる支援・政策の対象は
 - ・ 結婚・出産した女性
 - ・ 正社員の女性
 - ・ シングルマザー 等
- ⇒ 低賃金にもかかわらず、非正規シングル女性への支援がない

非正規職シングル女性調査

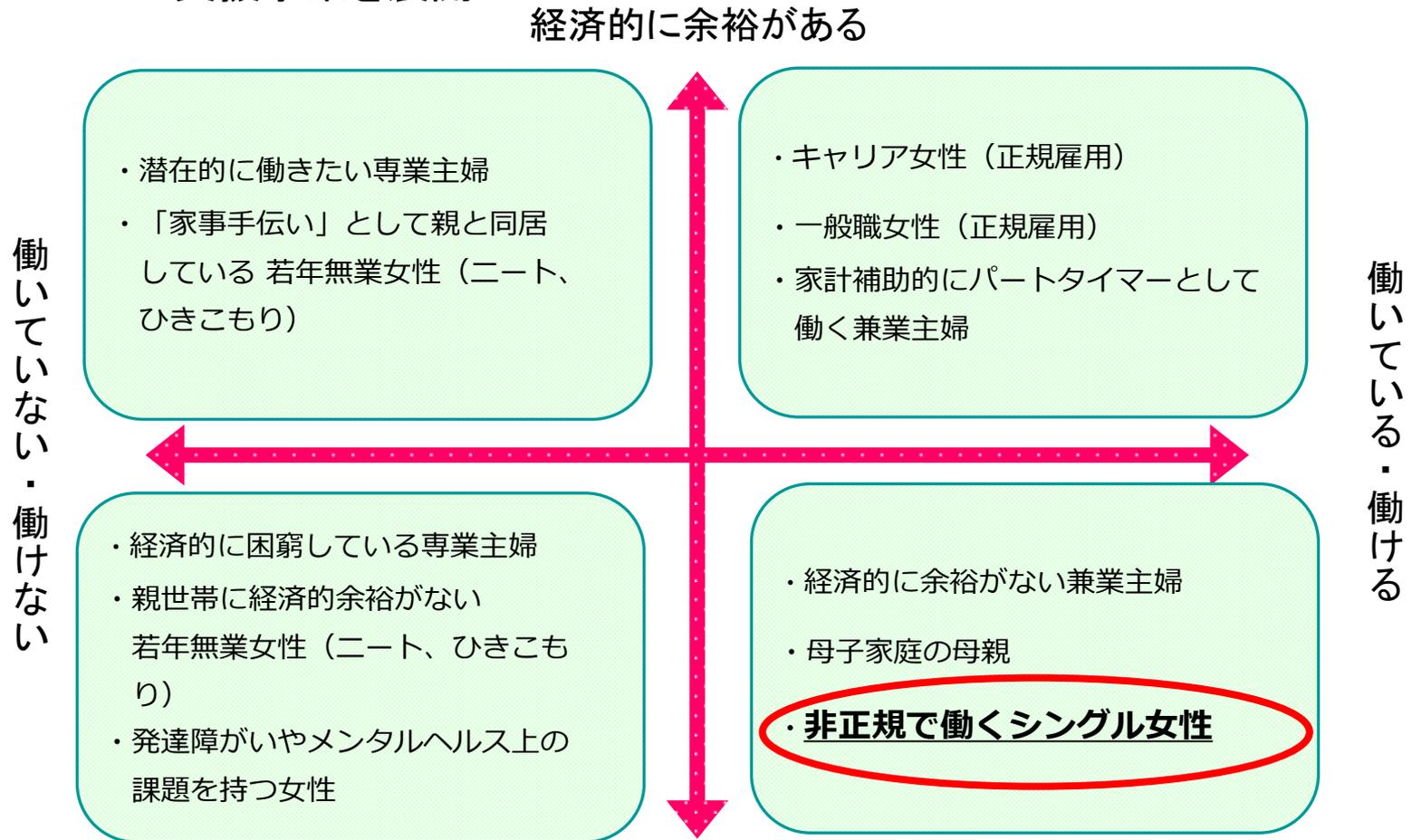
～社会的支援に向けた
ニーズを探る～
(2015年度)

- ◆ 調査実施の背景
(事業から見たニーズの変化等)



◎ 就業支援事業の対象層の見直し

※社会経済状況の変化を受け、対象層を見直し、新たな対象層向けの支援事業を展開



作図：(公財)横浜市男女共同参画推進協会

経済的に苦しい

◎ 非正規職シングル女性の調査全体像

2014年度

- 基礎的な統計データ等の分析
- ヒアリング調査の実施(2015年2~3月) 回答者数:7人

2015年度

- 調査の設計

- ウェブアンケートの実施
告知(9月)
実施(10月)
→有効回答者数261人
※グループインタビュー協力者募集

- グループインタビューの実施
(11月~1月)
横浜:12人
大阪:4人
福岡:6人

- 調査結果のとりまとめ
- 支援事業等の検討

◎ 非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査（2015年度）

《調査概要》

【実施主体】

公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会
一般財団法人 大阪市立男女共同参画のまち創生協会
公立大学法人福岡女子大学教授 野依智子

【調査対象】

横浜市、大阪市、福岡市を中心とする地域に在住し、
非正規で働いている35～54歳で子どものない
シングル女性

【方法・期間】

(1)ウェブアンケート 2015年10月3日(土)～10月30日(金)

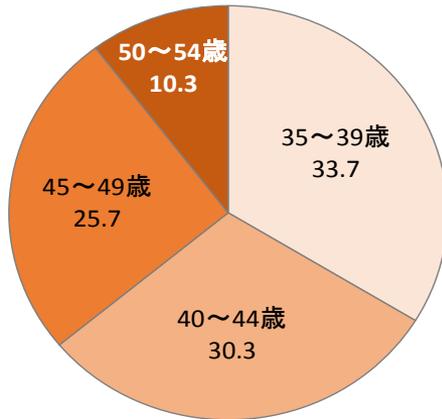
○回答数 279件 うち有効回答数 261

(2)グループインタビュー 2015年11月～2016年1月

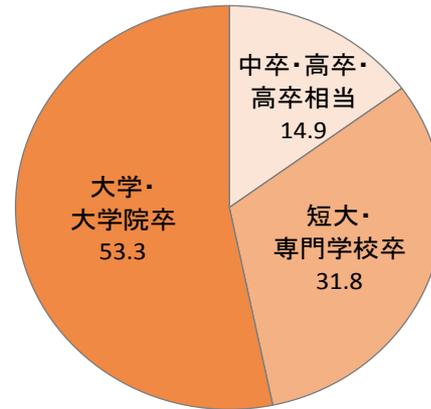
○3都市で5回実施、22人参加

◎ 回答者の概要 (プロフィール)

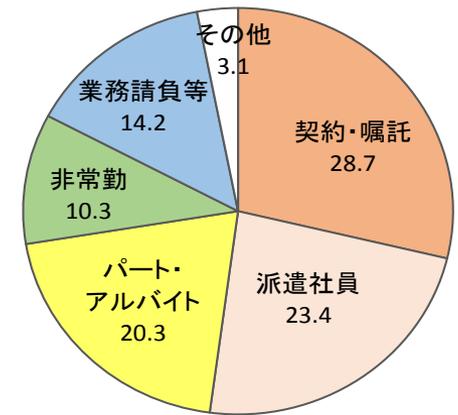
◆ 年齢



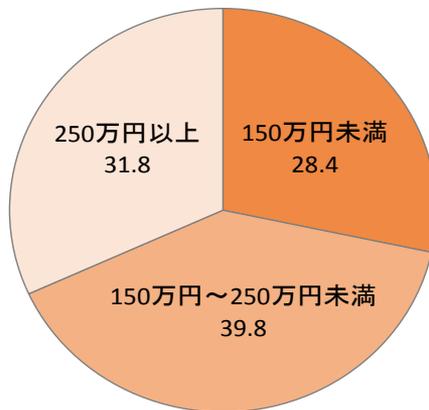
◆ 最終学歴



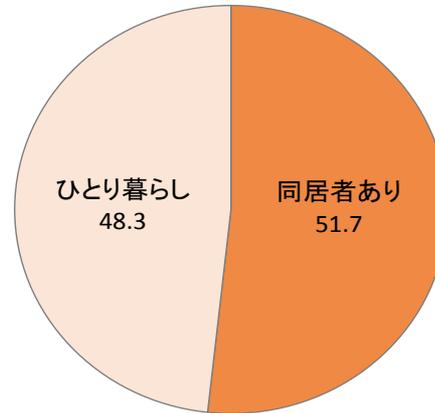
◆ 現在の就業形態



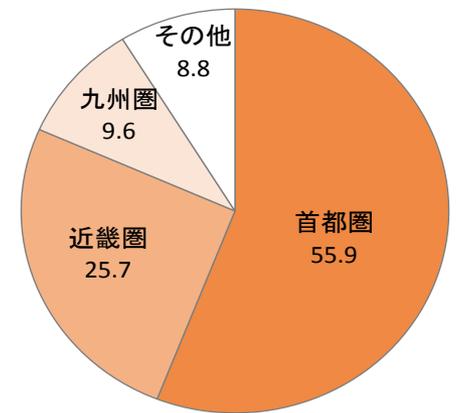
◆ 現在の年収



◆ 同居状況



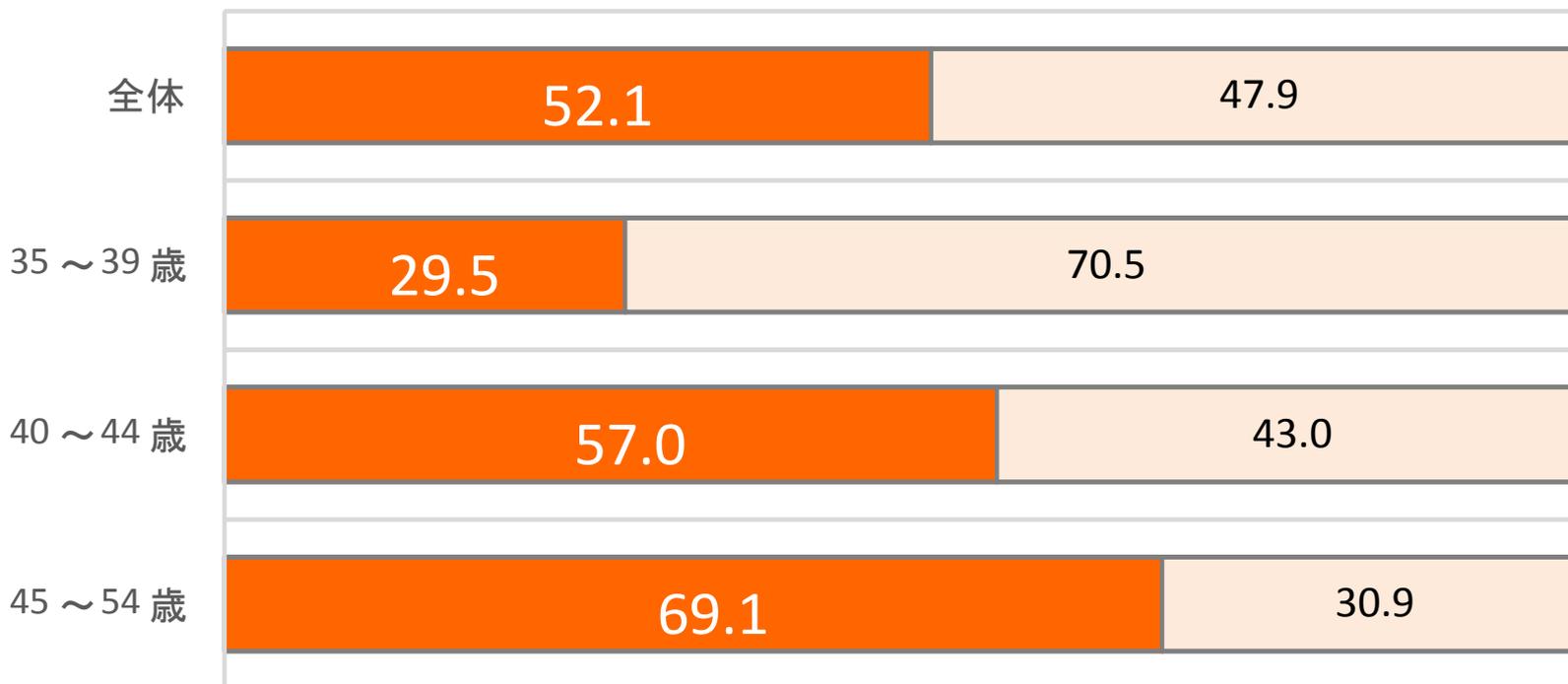
◆ 居住地



◎ 調査結果～初職の就業形態（年代別）

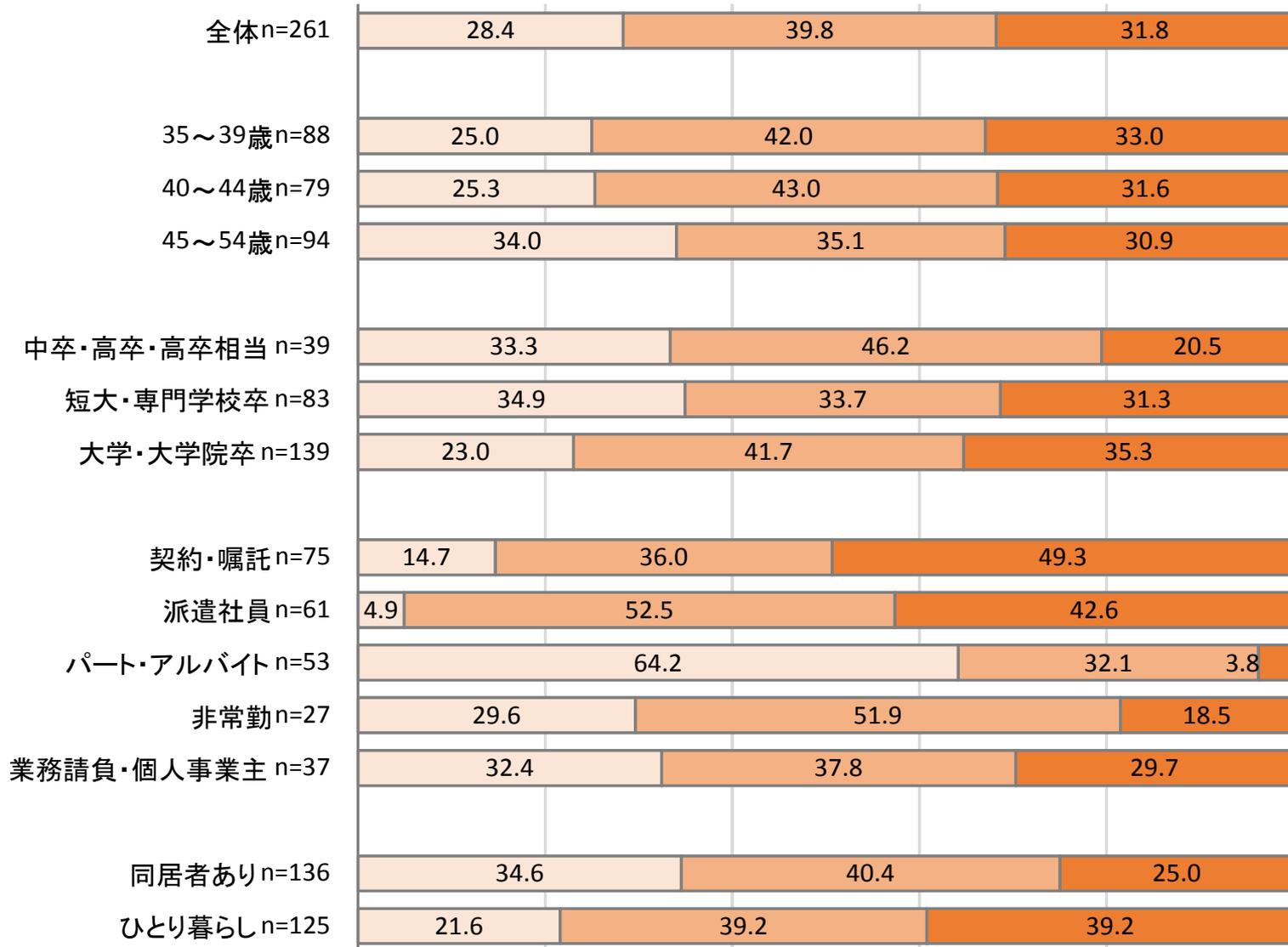
全体 n=261
35～39歳 n=88
40～44歳 n=79
45～54歳 n=94
(単位：%)

■ 正規職 □ 非正規職



◎ 年収3区分×年齢・学歴・就業形態・同居状況

□ 150万円未満 □ 150万円～250万円未満 □ 250万円以上



◎ 自由記述より

- 病気になったら契約を切られ、収入がなくなってしまうのが不安。収入が少ないため、貯蓄できない。
- 契約だからという理由で、昇級も昇格も賞与もない。正社員の半分ぐらいの給料。主たる稼ぎ手が家族にいる人をイメージして給料が決められている。
- 健康・仕事・住まいの心配はつながっている。自分の老後も親の老後も心配。
- 経験値が積み上がらない。資格取得の勉強をしたいが、学ぶための時間も、経済的余裕もない。
- 救急搬送された際、付き添いがないことを理由に受け入れ拒否された。独身女性は病院にも嫌がられる。
- 職場が遠いが、（派遣職員なので）交通費が出ない。就業場所により収入が変わる。
- 社員の業務時間内での資格取得のための出張や、時短勤務は、契約社員がカバーしている。忙しくても、特別手当はない。

◎ 調査結果まとめ

① 6割が“不本意非正規”

② 「35～39歳」の7割が“初職から非正規”

③ 3割が年収『150万円未満』

④ 二大困難は“低収入”と“雇用継続”

「収入を増やしたい」72% 「正社員になりたい」37%

⑤ かかえる困難は一様ではない

世代別、就業形態別、収入別に異なる

⑥ ジェンダー規範とケア役割

シングル女性への目に見えない圧迫

◎ 当事者が望む 3 つのこと

① 社会の風潮や制度の改革

(例) ・ **最低賃金を上げる**、求人年齢差別をなくす、非正規職の待遇改善、主婦との税金・社会保険料の格差をなくす、生活保護等福祉サービス利用への偏見をなくす、結婚や出産を体験しない女性への偏見をなくす、**女性への家事・介護負担の偏りをなくす**

② 具体的なサポートプログラム

(例) 【活動】 **職業訓練・資格取得**、スキルアップ、企業とのマッチングの場、心身がリフレッシュできる場

【住まい】 **低家賃の住まい・家賃補助**、公営住宅の優先入居、ルームシェアや住人マッチング

【相談】 不安な気持ちをただ聴いてくれるサービス、非正規・シングル・女性のためのキャリアカウンセリング、シングル女性に特化したハローワーク、税金・健康・キャリアアップ等の総合相談窓口、親の介護と仕事の相談、健康相談・健康診断、個人事業主のための相談

③ 同じ立場の人のつながり

(例) ・ **同じ経験をしている仲間と出会い、わかちあうしくみ**、おしゃべり会、交流サイト、現状が「ふつう」ではないと気づく機会、ネットワークづくり、それらを自分たちが主役となっていくこと

◎ 調査後の取組み

2016年度

◆ 「非正規職シングル女性の課題・ニーズ別支援モデルプログラムの開発事業」(内閣府委嘱事業)

- (1) プログラム開発
- (2) プログラムの試行実施(全3回)
- (3) プログラムの効果評価
- (4) 成果報告書の発行

◆ 「非正規職シングル女子のしごとと暮らし」 サイト開設

◎2017年度～仕事とくらしのセーフティ講座(全8回) を開催

参加費無料

仕事とくらしのセーフティ講座
パート・派遣・契約で働く
シングルのあなたに

対象・定員:非正規職(派遣・パート・契約など)で働くシングル女性25人
※35歳以上(原則として)、シングルマザー除く。支援・調査目的の参加はご遠慮ください。

非正規職で働く、シングル女性のこれからの働き方、暮らし方に焦点をあてた連続プログラムです。第5回～第7回は、お金、健康などをテーマに扱い、これからの暮らしを考えます。「もやもや」「不安」を一人で抱え込まず、しなやかに生き抜くためのヒントを見つけませんか。

| 日程 | 第5回 | 第6回 | 第7回 |
|---|---|---|--|
| いづれの回も 13:30～16:30 ※交流会 (任意参加)含む | 2019年 11月16日(土) テーマ「 老後とお金 」 @フォーラム | 2019年 12月21日(土) テーマ「 住まいとお金 」 @フォーラム南太田 | 2020年 1月18日(土) テーマ「 更年期と仕事 」 @フォーラム南太田 |

フォーラム



横浜市戸塚区上倉田町436-1 TEL.045-862-5052
JR・市営地下鉄「戸塚駅」徒歩5分

フォーラム南太田



横浜市南区南太田1-7-20 TEL.045-714-6911
京浜急行「南太田駅」徒歩3分
市営地下鉄「吉野駅」徒歩7分

お申込み・お問い合わせ 10/15(火)より申込開始

(公財)横浜市男女共同参画推進協会 事業企画課

TEL 045-862-5141 (第4木曜、年末年始除く 平日 9:00～17:30)

URL <https://hiseiki-singlewomen.info/>

第5回～第7回までの講座 すべての回の受付を10/15から開始します。上記の枠もしくは電話にて、お申込みください。定員に達し次第、受付を締め切ります。当日のキャンセル連絡は、各会場にお電話いただいたのメールにてご連絡ください。いただいた個人情報は、今回の事業実施のみに利用します。
(公財)横浜市男女共同参画推進協会は、障がい者雇用促進センター(福)フォーラム・フォーラム南太田・アートフォーラムあざみ野)を管理運営しています。

◆講座概要

目的：①**二大困難の緩和**「低収入」「雇用不安」
②**居場所づくり**

対象：35歳以上の非正規職シングル女性
25人

◆非正規職シングル女子のしごとと暮らしサイト&SNS 運営

目的：お役立ち情報等の発信 等

◎ 講座内容 (前半)

日程・テーマ

【第1回】 6月15日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「時代の変化をとらえて『働きつなく』」
- ◆ **交流会**

【第2回】 7月20日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「労働法のポイントとワークで学ぶ対話の仕方」
- ◆ 交流会

【第3回】 9月21日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「正社員を目指す～押さえておきたい労働市場のトレンドと求人の見極め方」
- ◆ **交流会**

【第4回】 10月26日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「親の介護に備える」
- ◆ **交流会**

◎ 講座内容 (後半)

日程・テーマ

【第5回】 11月16日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「シングル女性の老後とお金」
- ◆ **交流会**

【第6回】 12月21日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「住まいとお金」
- ◆ ゲストトーク「おせっかい不動産屋さんの取組み」
- ◆ **交流会**

【第7回】 1月18日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「働く女性の更年期とのつきあい方」
- ◆ **交流会**

【第8回】 2月上旬(土) 13:30～16:30

- ◆ トークイベント (未定)
- ◆ **交流会**

◎ 講座のふりかえり

◆ 成果

- ・ 非正規雇用労働者の状況が顕在化された。
メディアへの露出の多さも寄与（4年間で約60件の取材対応）
- ・ 交流によって当事者同士がつながり、孤立化を緩和。
2019年度から、修了者数名で自助グループ活動を開始
- ・ 9割以上が講座に「大変満足」「満足」
- ・ 今ある制度の活用&情報収集+行動の重要性の認識
- ・ プログラム参加による自己効力感の向上（2016年度）

◆ 課題

- ・ プログラムのみで「収入向上」「雇用不安」の解消は困難
- ・ 経済的・精神的に追い詰められている人は参加していない
- ・ 政府の施策との連携：就職氷河期世代の就職や正社員化（30万人）
- ・ 社会福祉制度による救済、家賃補助制度の創設など
- ・ 「自己責任論」に代表される社会の風潮は変わるのか

◎ 社会支援策として ハウジング・ファーストとは

- ◆ 新しいホームレス支援の形として始まる
- ◆ ステップアップ的支援（まず施設や病院に入所し、段階を踏んで部屋を提供）とは逆で、まず自分のホーム＝家に入居。ソーシャルワーカー、精神科医、訪問看護師などで構成されたチームが一人ひとりにかかわって支援につなげる支援のあり方。従来の3倍の成功率を挙げて、注目されている。

1988年よりロサンゼルスで実験的に実施され、目覚ましい功績を残したのを機に、アメリカ全土に広がり、カナダ、フランス、北欧へも広がっている。

住まい＝権利

家ではなく、ホーム。人間の尊厳を守るために最低限必要なもの。

◎ 社会支援策として

家賃補助制度の創設と拡充

◆ 横浜市の場合～家賃補助付きセーフティネット住宅

セーフティネット住宅として登録された住宅のうち、一定の要件を満たす住宅に対して、家賃や家賃債務保証料の補助を行う。入居者の収入等に応じて毎月最大4万円を大家に支給。入居者の家賃負担がその分安くなる仕組み。登録物件約100件（2019年10月現在）

◆ 入居者の資格

- ・世帯の月収額が15万8千円以下であること
（単身の給与所得者：約297万円）
- ・住宅扶助（生活保護制度）や住居確保給付金（生活困窮者自立支援制度）を受給していないこと
- ・横浜市内に在住または在勤していること
- ・持ち家がないこと等 （公財）横浜市男女共同参画推進協会

◎ できること・考えてほしいこと

◆ まずは知ること

「女性の貧困」

「自分の準拠集団以外」

◆ 女性がフルタイムで働いても経済的に自立できないのは、社会（みんな）の問題

◆ 男性の非正規雇用化・貧困化も進展

◆ 正社員化は問題解決か。過酷な労働こそが問題

◆ 働かざる者、食うべからず？

障がい・病気等でフルタイム就労できない人も

生きる権利が保障されるのが成熟社会

やり直しがきかない社会→失敗する権利がある社会

◎ 「非正規職シングル女子のしごとと暮らし」 サイト & SNS

非正規職 シングル 女子 のしごとと暮らし



<https://www.hiseiki-singlewomen.info/>



非正規職シングル女子しごとと暮らしの研究

@swomenlab

<https://twitter.com/swomenlab>



非正規職シングル女子のしごとと暮らしの研究 @swomenlab

<https://www.facebook.com/swomenlab>

